



学校だより No.4

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

- 《目指す生徒像》
- 向学 ……自ら学ぶ生徒
 - 礼節 ……思いやりのある生徒
 - 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気(やる気・勇気・根気)を伸ばすワンポイントアップ大作戦～」

「工夫」について考える(学校集会の校長講話より)

前回に引き続きワンポイントアップを図るために大切なことについて考えました。前回
 は「努力」について考えましたが、今回は「工夫」について考えました。逆
 ます、柔軟性を高める工夫を実際に体験してみました。その方法は、逆
 転の発想とも言えるべき方法でした。実際にやってみると、柔軟性が高ま
 たことと実感することができました。いつもとは違った視点で工夫をする
 みると思わぬ効果があることが分かりました。このことから、工夫をする
 ことにより、「努力」と同様に「工夫」によって様々な力が身に付くのです。それは、
 身に付いた知識や技能を活用する「応用力」、違った視点で新しい方法を考える「思考力」、
 どの方法が効果的かを選ぶ「判断力」、などの力です。これらの力は、これから自律(立)
 した社会人へと成長していく中学生にとって、とても重要な力です。
 「いつも通り」が大切な場面もありますが、「ワンポイントアップ」には「工夫」する
 ことがとても大切です。そのためには、「工夫」の基となる基礎的な知識や技能をしっか
 りと身に付けることも大切だということです。

歯を食いしばって頑張り根気をワンポイントアップ～マラソン大会より～



5月19日(木)に3年ぶりのマラソン大会が開催されました。当日
 は晴天に恵まれ、マラソンにはやや暑いくらいでした。本年度は、コロ
 ナ対策として学級毎の時差スタートのタイムトライアルで行いました。
 9時30分、3年1組の女子からスタートし、その後1分間隔で各ク
 ラスがスタートしていきました。スタートするときには緊張の面持ちでし
 たが、スタートの号砲が鳴ると元気よく走り出していきました。
 私は、ゴール付近で応援していましたが、一番苦しいゴール前でどの
 生徒も1秒でも速くゴールできるようにと気力を振り絞り、歯を食いし
 ばって走りゴールしていました。その姿・表情は、自分の目標に向かっ
 て最後まで諦めない美しい姿・表情でした。

マラソン大会を通して、最後まで諦めない「根気」がワンポイントアップしました。マラソン大会で培った「根気」を、学校生活の中でも生かして行ってほしいと思います。

<入賞者等紹介>

◎クラス対抗

優勝：3年1組 準優勝：1年1組 第三位：3年2組

◎個人(敬称略)

[男子]

第一位	関 涼	晟	2-2
第二位	鈴木 翔	輝	2-2
第三位	平澤 天	夢	2-1
第四位	高野 一	臣	2-2
第五位	瀧澤 志	生	3-1
第六位	佐々木 琉		2-2
第七位	高平 陽	太	1-2
第八位	下飯 尊	生	2-2
第九位	稲田 樫	斗	2-1
第十位	片野 龍		1-1

[女子]

第一位	深代 理	来	1-1
第二位	宮下 絢	羽	3-2
第三位	高橋 梨	乃	3-2
第四位	角田 絢	音	1-1
第五位	原 穂	乃	3-1
第六位	平井 音	乃	3-1
第七位	大竹 愛	琉	1-2
第八位	深代 瑚	々	3-2
第九位	菅野 愛	徠	2-1
第十位	坂爪 陽	菜	1-2



速く・高く・遠くへ～郡市陸上大会～



5月28日(土)に郡市陸上大会が行われました。大会開催に先立ち5月27日(金)の朝行事で選手壮行会が行われ、校長より「自己ベストを目指して、各競技に全力で最後まで諦めずに、そして感謝の気持ちをもって中学生らしく取り組んでほしい」と激励の言葉を贈りました。

当日は晴天のもと、各選手が校長の激励の言葉のように、それぞれの競技に最後まで全力を出し切り粘り強く取り組むことができました。各選手は、陸上という新しい挑戦をしたことで可能性を広げ力を伸ばすことができました。

＜入賞者の紹介＞(敬称略)

第一位：共通砲丸投げ 鈴木 滉太、第一位：2・3年走り幅跳び 平澤 天夢
第二位：共通200m 田村 優空、第二位：共通走り高跳び 島村 一橙
第三位：共通砲丸投げ 鈴木 翔輝、第五位：2・3年1500m 関 涼晟

緊急時対応の意識と技術の向上～各種避難訓練(不審者・洪水・地震想定引き渡し)～



新学期が始まってこれまでに3種類(不審者・洪水・合同引き渡し)の避難訓練を実施しました。昨年度に引き続き不審者と洪水の避難訓練については朝行事で実施しましたが、短い時間の中で真剣に取り組む有意義な避難訓練となりました。特に洪水の避難訓練では、昨年の成果を生かし、大変スムーズに避難することができました。昨年度は、意識の

向上を図ることができましたが、本年度は更に技術の向上も図ることができました。

また、5月30日(月)には引き渡し訓練が行われました。本年度は、1年生と2・3年生の希望者対象に行われました。一旦、全員で校庭に避難しましたが、洪水の避難訓練同様に全員が落ち着いてスムーズに避難することができました。その後、保護者の方々に迎えに来ていただき、無事引き渡しが完了しました。ご参加いただいた保護者の皆様には、大変お世話になりました。これからも、保護者の皆様や地域の方々と連携して危機管理を徹底していきたいと思っておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



東日本大震災のような大きな地震がいつ起きるか分かりませんから、避難訓練で身に付けた防災意識と避難技術を、普段の生活の中で常に生かせるようにしていきましょう。

自分たちの安全を自分たちで守る～通学路の危険箇所点検～



本年度のボランティア活動として通学路の危険箇所点検をしました。通常のボランティア活動では通学路のゴミ拾いをしていましたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から内容を変更して実施しました。

まず、登校してくるときに通学路に危険箇所がないか確認し、その後各町で集まりそれぞれが確認した危険箇所を出し合い表にまとめて確認しました。最後に、各町の3年生が職員室前の廊下に掲示してある安全マップに確認した危険箇所にシールを貼りました。

自分たちの目で危険箇所を確認したことで通学路の安全に対する意識が高まりました。また、友達と危険箇所を確認し合うことで、自分では気付かなかった危険箇所を確認することができました。

《コラム～校長室より・校長の独り言～》

マラソン大会の男子がスタートする時のことでした。数人の女子が、男子を元気づけようと応援団さながらのエールを男子に送りました。すると、それを受けて男子がエールを送ってくれた女子に拍手を返したのです。更に、その拍手を聞いてスタート付近にいた大勢の人がみんな拍手をしたのです。私も大きな拍手を送りました。

その光景を見ていて、学校が一つにまとまったような感じがして、とても嬉しくなりました。

